

1. 平成 24 年度全国の地盤沈下の状況

(1) 地盤沈下の測定のための水準測量等が実施された地域

平成 24 年度に地盤沈下の測定のための水準測量が実施された地域は、24 都道府県 34 地域となっている。

表 1 平成 24 年度に地盤沈下の測定のための水準測量が実施された地域

都道府県	地 域	都道府県	地 域
北海道	石狩平野	石川県	七尾
宮城県	気仙沼		金沢平野
	古川	福井県	福井平野
	仙台平野	山梨県	甲府盆地
山形県	山形盆地	岐阜県	濃尾平野
	米沢盆地	静岡県	沼津・三島
茨城県	関東平野	愛知県	濃尾平野
栃木県	関東平野	三重県	濃尾平野
群馬県	関東平野	大阪府	大阪平野
埼玉県	関東平野	兵庫県	大阪平野
千葉県	関東平野南部		豊岡盆地
	九十九里平野	高知県	高知平野
東京都	関東平野南部	福岡県	筑後・佐賀平野
神奈川県	関東平野南部	佐賀県	筑後・佐賀平野
	県央・湘南	鹿児島県	鹿児島
新潟県	新潟平野		
	長岡		
	南魚沼		
	高田平野		

(2) 全国で年間2 cm 以上沈下した地域

平成24年度において全国で年間2 cm 以上沈下した地域は7地域（平成23年度は14地域）で、2 cm以上沈下した面積が1.0 km²以上の地域の面積は2.0 km²（平成23年度は5,919.5 km²）であった。

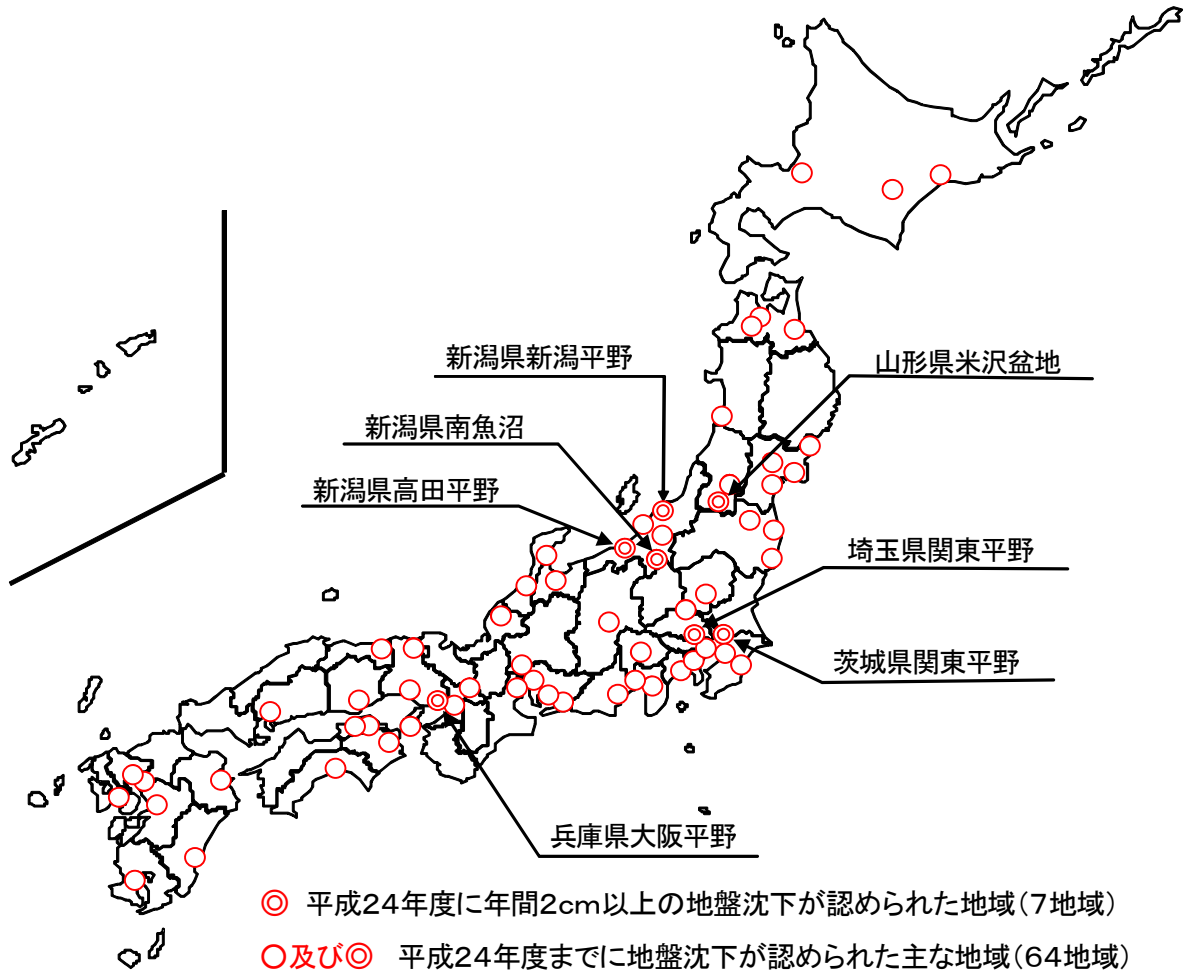


図1 平成24年度全国の地盤沈下の状況

表2 年間2cm以上沈下した地域の最大沈下量（平成24年度）

沈下量 ^{※1} (cm)	地域名	市町村名
3.2	新潟県 南魚沼	南魚沼市余川
3.0	新潟県 高田平野	上越市新南町
2.5	山形県 米沢盆地	米沢市金池
2.3	埼玉県 関東平野	幸手市平野
2.3	茨城県 関東平野	八千代町沼森字登戸前
2.3	新潟県 新潟平野	新潟市東区松浜町
2.0 ^{※2}	兵庫県 大阪平野	尼崎市扇町

※1 沈下量は小数点以下第二位を四捨五入している。

※2 兵庫県大阪平野の沈下については、対象水準点周辺において実施されている 公共工事（造成工事）に伴い圧密沈下が発生したため、一時的に沈下量が大きくなったものと推測される。

(3) 全国で年間2cm以上沈下した地域の面積

表3 年間2cm以上沈下した地域の面積^{※3}（平成24年度）

地域名	面積(km ²)
新潟県 高田平野	2.0
合計	2.0

※3 年間2cm以上沈下した面積が1.0km²以上の地域のみ掲載している。

2. 地盤沈下面積等の推移

環境省が集計を開始した昭和53年度以降の全国の地盤沈下地域数及び面積の推移を表4に示す。平成24年度における年間2cm以上沈下した地域は7地域であり、年間2cm以上沈下した面積が1,0km²以上の地域の面積は2,0km²であった。

平成24年度において地盤沈下地域数及び面積は平成23年度に比べ大きく減少したが、東北地方太平洋沖地震の影響による地殻変動が今後も継続するおそれがあるため、長期的に地盤沈下状況を把握していく必要がある。また、平成6年度に発生した大湯水のように地下水需要が急増した場合には、一時的に地盤沈下が増加する可能性がある。そのため、地下水採取状況も合わせて把握していく必要がある。

表4 全国の地盤沈下地域の数及び面積（年度別推移）

	上段：地域数（単位：地域）										下段：面積（単位：km ² ）		
	昭和53	昭和54	昭和55	昭和56	昭和57	昭和58	昭和59	昭和60	昭和61	昭和62	昭和63		
年間2cm以上沈下した地域	28	25	23	25	22	22	31	19	18	12	17		
	1,946	624	467	689	616	594	814	499	396	500	617		
年間4cm以上沈下した地域	13	9	8	8	8	6	12	7	6	7	5		
	404	176	100	60	45	45	161	40	7	22	63		
	平成元	平成2	平成3	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11		
年間2cm以上沈下した地域	16	18	17	19	11	21	14	13	9	9	9		
	285	360	467	525	276	902	21	258	244	250	6		
年間4cm以上沈下した地域	4	5	4	6	1	6	2	4	-	-	-		
	7	14	6	25	0	113	0	22	-	-	-		
	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22		
年間2cm以上沈下した地域	7	9	8	6	9	7	5	9	3	6	6		
	6	28	461	3	176	4	17	72	1	24	6		
年間4cm以上沈下した地域	-	-	-	1	2	-	1	-	2	1	-		
	-	-	-	0	0	-	1	-	0	0	-		
	平成23	平成24											
年間2cm以上沈下した地域	14	7											
	5,920	2											
年間4cm以上沈下した地域	11	-											
	4,061	-											

- ※1 -：当該沈下量に該当する地域数、面積に該当する数値がないことを示している。
- 0：0.5km²未満であることを示す。面積は四捨五入の上、1km²単位で表示している。
- ※2 面積を測定していない地域は集計対象外とした。また、面積は複数年分の沈下量から年平均の沈下量を算出した数値を含む。
- ※3 平成23年度は東北地方太平洋沖地震による影響があると考えられる地域の沈下面積を含む。

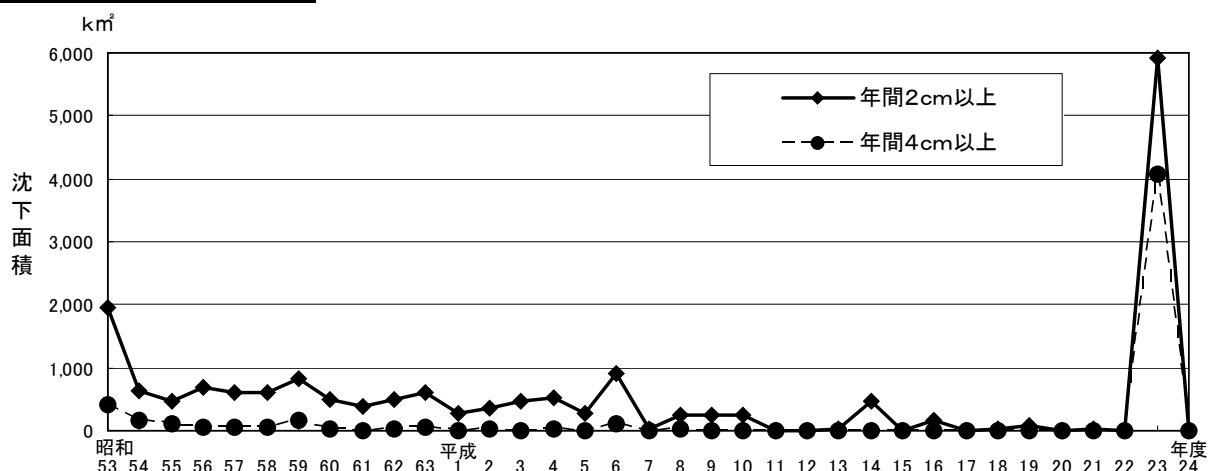


図2 全国の地盤沈下地域の面積（年度別推移）

表5 全国の地盤沈下地域の数及び面積（年度別推移）

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
4.7 福岡県 筑後・佐賀平野 (みやま市)	4.2 兵庫県 大阪平野 ^{※2} (尼崎市)	2.8 福岡県 筑後・佐賀平野 ^{※2} (柳川市)	73.8 ^{※3} 宮城県 気仙沼 ^{※4} (気仙沼市)	3.2 新潟県 南魚沼 (南魚沼市)
4.4 北海道 石狩平野 (札幌市)	2.6 新潟県 新潟平野 (新潟市)	2.5 栃木県 関東平野 (下都賀郡野木町)	30.9 千葉県 関東平野南部 ^{※4} (市川市)	3.0 新潟県 高田平野 (上越市)
2.0 千葉県 九十九里平野 (東金市)	2.4 千葉県 関東平野南部 (八街市)	2.4 埼玉県 関東平野 (加須市)	15.2 茨城県 関東平野 ^{※4} (つくば市)	2.5 山形県 米沢盆地 (米沢市)
	2.3 千葉県 九十九里平野 (東金市)	2.2 茨城県 関東平野 (猿島郡五霞町)	14.0 千葉県 九十九里平野 ^{※4} (長生郡白子町)	2.3 埼玉県 関東平野 (幸手市)
	2.2 新潟県 柏崎 (柏崎市)	2.2 千葉県 関東平野南部 (習志野市)	12.5 埼玉県 関東平野 ^{※4} (加須市)	2.3 茨城県 関東平野 (結城郡八千代町)
	2.1 福岡県 筑後・佐賀平野 (柳川市)	2.0 北海道 石狩平野 (札幌市)	11.3 栃木県 関東平野 ^{※4} (真岡市)	2.3 新潟県 新潟平野 (新潟市)
			11.3 神奈川県 関東平野南部 ^{※4} (川崎市)	2.0 兵庫県 大阪平野 ^{※2} (尼崎市)
			9.4 宮城県 古川 ^{※4} (大崎市)	
			8.3 山形県 米沢盆地 ^{※4} (米沢市)	
			5.2 群馬県 関東平野 ^{※4} (邑楽郡板倉町)	
			4.7 神奈川県 県央・湘南 ^{※4} (厚木市)	
			2.7 福岡県 筑後・佐賀平野 ^{※2} (柳川市)	
			2.2 新潟県 南魚沼 (南魚沼市)	
			2.0 新潟県 柏崎 (柏崎市)	

※1 上段は都道府県名、中段は地域名、下段は該地点の所在市町村名

欄内左側の数字は各地域内の最大沈下量（単位：cm）

の小数点以下第二位を四捨五入して表示

下線付きの数字は、毎年測量ではないため、複数年分の沈下量から1年間分の沈下量を算出した数値

※2 兵庫県大阪平野及び福岡県筑後・佐賀平野の沈下については、近隣において公共工事が実施されたため、一時的に沈下量が大きくなったものと推測される。

※3 宮城県気仙沼地域の沈下量は、東北地方太平洋沖地震により前年度までの算出方法を変更している。

※4 東北地方太平洋沖地震による影響があると考えられる地域。

3. 5ヶ年累積沈下量 10cm 以上の地域(平成 20～24 年度)

最近5ヶ年(平成20～24年度)の累積沈下量が10cm以上の地域は表6のとおりであった。

表6 5ヶ年累積沈下量10cm以上の地域(平成20～24年度)

地 域 名	累積沈下量(cm) ^{※1}
宮城県 気仙沼(気仙沼市)	75.5 ^{※2}
千葉県 関東平野南部(市川市)	30.5
千葉県 九十九里平野(白子町)	16.9
茨城県 関東平野(つくば市)	15.6
埼玉県 関東平野(加須市)	15.3
兵庫県 大阪平野(尼崎市)	14.4 ^{※3}
山形県 米沢盆地(米沢市)	14.3
宮城県 古川(大崎市)	12.6
神奈川県 関東平野南部(川崎市)	11.9 ^{※4}

※1 沈下量は小数点以下第二位を四捨五入して表示している。

平成23年度の沈下量については、東北地方太平洋沖地震による影響があるものと考えられる。

※2 宮城県気仙沼地域の累積沈下量は、東北地方太平洋沖地震により平成23年度から算出方法を変更している。

※3 兵庫県大阪平野の沈下については、平成20～21年度累積沈下量8.4cmと平成22～24年度累積沈下量6.0cmを合計した沈下量である。なお、対象水準点周辺において実施されている公共工事(造成工事)に伴い圧密沈下が発生したため、一時的に沈下量が大きくなったものと推測される。

※4 平成22～24年度の各年沈下量を合計した沈下量である。